

能登半島ペット緊急対策業務記録

令和6年2月5日～2月9日の5日間、令和6年能登半島地震によって被災した、能登半島に滋賀県から獣医師1名と当協会から指導員1名が派遣されました。現地での活動内容・被災地のペットの様子などを報告させていただきます。

【活動1日目】

輪島市で地震発生時に逸走し行方不明になった飼い犬を捜索したが、発見できなかったため、近くの指定避難所で行方不明になっている飼い犬の特徴などを伝え、避難者に情報がないかを呼びかけてもらうことにした。

活動終了後、宿舎のある羽咋市に戻る道中で大雪に見舞われる。



輪島市の大規模火災跡 この後、短時間で道路が積雪

【活動2日目】

昨日積もった雪も融け、2日目は穴水町で活動。放浪していた犬が放し飼いであることが判明し、飼い宅を訪問。犬は繋留されており、放し飼い状態にならないように指導。その後、1日目に対応した輪島市の行方不明犬を捜索。発見できず。



【活動3日目】

能登中部保健福祉センターで保護されている成犬2頭、成猫2頭を小松市の南部小動物指導センターへ搬送。地震によってできた道路の段差がかなり激しく、搬送している犬猫にできるだけ負担がかからないように慎重な運転が必要になった。



猫は後部座席に載せる 到着直後の猫

【活動4日目】

午前中は輪島市の行方不明犬の捜索。飼われていた家の廊下に動物の足跡があったため、家内を捜索するも犬の姿はなく、同居していたと思われる猫を発見。足跡はこの猫の可能性大。

付近を捜索中、避難所になっている小学校の校庭に犬の物と思われる糞がいくつか落ちていた。捜索中の犬のものかもしれないので避難所運営者に確認したところ、捜索中の犬の情報はなく、避難所内に犬連れの避難者が2組いることのみ確認できた。この避難所は各避難者の居住スペースだけがそのままにペースは完全に仕切られている。



避難所に貼られたペット支援のポスター

午後からは輪島市町野町へ移動。指定避難所・自主避難所を訪問し、犬の目撃情報や自主避難所のペットの状況などを聴き取り。ある避難所前で放浪犬を発見し、保護するため餌付けを行っているが、切れて垂れ下がった電線に感電し、驚いて逃げてしまった。輪島市三井町で所有者不明犬の引取り依頼があり、成犬1頭を引取り。



車中で飼育されている猫 避難所のマスコットの存在の猫

【活動5日目】

活動最終日は、能登中部保健福祉センターでのミーティングの後、昨日輪島市町野町で感電して逃走した放浪犬を捜索するも発見に至らず、周辺の避難所2か所を訪問調査し、昨日、輪島市三井町で保護した犬の保護情報チラシを三井地区の避難所担当者に掲示依頼。



避難所の訪問

【活動を終えて】

地震発生時に逃亡した飼い犬の捜索や避難所の訪問以外は日頃の業務と変わりなく、戸惑いはほとんどありませんでしたが、実際に倒壊した家屋や地震による火災で焼け野原となった場所を目の当たりにした時は、これが現実なのかと頭の整理が追いつかないほどでした。特に逃亡した飼い犬の捜索時に飼われていた自宅内で当時のままの飼育されていたケージを見つけた時には切ない気持ちになりました。

ペット同行避難については、今回訪問した避難所ではほとんど行われておらず、ペット連れ用の部屋があるか、居住スペースが個々に区切られた場合に限られていました。猫は、室内外自由飼育であることが多く、同行避難は難しいようでした。同行避難が認められている避難所でも飼い主自身が気を遣って同行していないことが多いようです。

同行避難が推奨されていますが、いくつかの条件が揃わないと難しいことを実感しました。

わんにゃん広場

No.112

令和6年3月29日
(一財)滋賀県動物保護管理協会
滋賀県湖南市岩根 136-98
☎0748-75-6522

譲渡候補猫



No.211(もんきち)

【猫種】雑種 【性別】オス(去勢済)

【年齢】推定10歳

FIV 陰性・FeLV 陰性

体質的に風邪をひきやすく、逆まつ毛のため目ヤニや鼻水がやすい。

歯周病のため、犬歯を除き抜歯していますが、ドライフードを食べることができます。



No.368

【猫種】雑種 【性別】メス(不妊済)

【年齢】推定5歳

FIV 陰性・FeLV 陰性

※譲渡候補猫はすでに譲渡されている場合があります。詳細は協会ホームページでご確認下さい。今号に掲載していない譲渡候補犬・猫の情報もご覧いただくことができます。

今号の内容

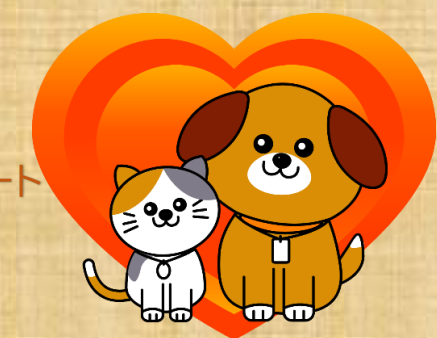
🐾表紙 譲渡候補猫の紹介

🐾高齢犬にみられる前庭疾患について

🐾能登半島地震被災地ペット支援チャリティジャズコンサート

🐾犬のストレスサイン②～体～

🐾能登半島ペット緊急対策業務記録





高齢犬にみられる前庭疾患

いなば動物病院
獣医師 稲葉 友広



人と同様に犬も高齢になるといろいろな病気になりやすくなります。
今回は、高齢犬にみられる前庭疾患について書かせていただきます。

高齢犬に多い特発性前庭疾患とは？

老齢性前庭疾患とも呼ばれることもある平衡感覚異常がみられる病気です。前庭とは耳の奥の内耳にある器官で、その前庭に問題がおきると平衡感覚の異常が起きます。

前庭疾患の主な原因

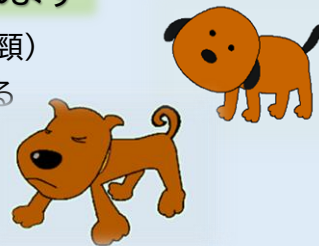
- ・内耳炎、中耳炎など前庭付近の障害によるもの
- ・脳腫瘍や脳炎などの脳の障害によるもの
- ・その他として甲状腺機能低下によるものや薬剤によるものなどが考えられています。これらのうち特発性とは、原因不明の前庭障害をいいます。



頭をかしげた方向にくるくる回るようになります。
円形のサークルを設置し、角に詰まって動けなくならないようにするなど工夫が必要です。

例えば次のような兆候がみられます

- ・首をどちらかにかしげた姿勢(捻転斜頸)
 - ・かしげた方向にくるくと回る、倒れる
 - ・倒れないように四肢を広げて立つ
 - ・眼球の小刻みな揺れ(眼振)
- などの兆候としてみられます。



その後どうなるのか？

特発性前庭疾患の多くは、7日～10日くらいで正常に回復し、自然に治まることが多いと言われていますが、食欲の低下や嘔吐が起きている場合は全身状態が悪化する場合はあるので、点滴による脱水の改善や投薬による吐き気の改善が必要になります。また、約半数くらいは首をかしげた姿勢(捻転斜頸)が残ったという報告もあります。

しかし、同じ状態が長く続いたり、悪化するようであれば、脳炎や脳腫瘍といった深刻な病気の徴候の可能性もあるため、精密検査を受けるケースもあります。

首をかしげる姿勢や眼球の揺れ、吐き戻しなどがみられたら早めに動物病院を受診しましょう。

わんにゃん募金のご報告

令和5年12月から令和6年1月にかけて県内58カ所の動物病院に設置させていただいている「わんにゃん募金」の回収を行いました。

令和6年1月31日時点で募金額は 788,471 円となりましたのでご報告いたします。

当協会の事業や運営のため、大切にさせていただきます。



令和5年度動物慰霊祭

令和6年3月26日(火)滋賀県動物保護管理センター友遊館多目的室において令和5年度動物慰霊祭を開催しました。

当日は足元の悪い中、ご参加いただきありがとうございます。ありがとうございました。



♪能登半島地震被災地ペット支援チャリティジャズコンサート♪

毎年、滋賀県動物保護管理センターで開催されているチャリティジャズコンサート「Jazz for Dog&Cat」ですが、今回は能登半島地震により被災したペットたちの救済および支援のため、開催されました。

今回は大津市のダンススクールのスタジオと音楽教室で行われ、たくさんの方が約3時間著名なジャズミュージシャンによる演奏に酔いしれました。

集まった寄付金 198,966 円は令和6年能登半島地震動物対策本部に届けられます。



犬のストレスサイン②～体～

わたしたち人間と同じように犬にもストレスを感じる時があり、それは顔や身体を使って表現されます。今回は「体」に現れるストレスサインについて紹介します。



【体を掻く】

不安や緊張、葛藤などのストレスを感じ「かゆがるしぐさ」をすることがあります。これは体を掻いたり、なめたりすることで気持ちをなだめようとするためだといわれています。数回、数秒間行う分には問題ありませんが、何度も繰り返しているのであれば声をかけたり、遊んだりして気持ちを紛らわせてあげましょう。

【よだれが出る】

緊張状態などのストレスが原因で、よだれの量が増えることがあります。震えや息遣いが荒いなどが状態になっていたら強いストレスを感じているサインかもしれません。

リラックスできる環境を整えて少し様子を見ましょう。雷や台風などに怯えている時もよだれが増えることがあります。

ドライブ中に犬が過度によだれを出していたら、こまめに休憩を取るなどして対策をしましょう。

他にも、車酔いや毒性のあるものを食べてしまったり、食べ物以外の物を飲み込んでしまったり、誤食や誤飲でよだれの量が増えることがあります。

よだれが出ている時は、何らかのストレスや誤食、誤飲による体への異変が起きている可能性があるため、いつもより犬の行動を注意してみてあげてください。



【クシャミをする】

犬も人間と同じように、鼻の中に埃や砂などの異物が入ったり、粘膜が刺激を受けた際に反射的にくしゃみをします。

生理現象であり、基本的にはすぐおさまります。しかし、何らかの病気が原因でくしゃみが出ている場合は何日も続いたり、他の症状が出たりする場合があります。